

全国健康保険協会群馬支部健康づくり推進協議会

(第 1 回)



全国健康保険協会 群馬支部

協会けんぽ

平成25年度第1回健康づくり推進協議会目次

群馬支部健康づくり推進協議会委員名簿（P1）

全国健康保険協会群馬支部健康づくり推進協議会要綱等（P3～5）

協会けんぽ概要（P7～14）

群馬支部概要（P15～24）

群馬支部保健事業概要（P25～30）

群馬支部その他健康づくり事業（P31～44）

群馬支部健康づくり推進計画（案）（P45～57）

（別添 参考資料）

事業所健康度診断（P3）

協会けんぽ群馬支部地域別疾患別割合（P5～P23）

平成23年度健診結果の状況（P25～P33）

協会けんぽ都道府県別医療費状況・健診結果状況（P35～P48）

平成22年度国民健康・栄養調査（P49～P57）

群馬支部健康づくり推進協議会委員名簿

区分	委員名	団体名	役職
被保険者代表 (健康保険委員)	小野寺 昭子	株式会社 免疫生物研究所	取締役人事総務部長
	渡辺 学	社会福祉法人 恵風会	施設長
事業主代表	串田 紀之	群馬県中小企業団体中央会	常任理事
		クシダ工業 株式会社	代表取締役社長
	角田 彦三郎	群馬県商工会連合会	副会長
		角田建設工業 株式会社 グループ	会長
保健医療関係者	田中 義	群馬県医師会	理事
		田中医院	院長
	田代 雅彦	社会保険群馬中央総合病院	病院長
学識経験者	佐藤 由美	群馬大学大学院	保健学研究科教授
	浅見 隆康	群馬県こころの健康センター	所長(医学博士)
行政	寺村 裕司	群馬労働局労働基準部	健康安全課長
	津久井 智	群馬県健康福祉部	保健予防課長
	齋藤 明久	前橋市健康部	国民健康保険課長
	桜井 健次	高崎市市民部	保険年金課長
群馬支部	江藏 義雄	全国健康保険協会群馬支部	支部長

全国健康保険協会群馬支部健康づくり推進協議会設置要綱

1 趣旨

この要綱は、全国健康保険協会（以下「協会」という。）の加入者の疾病予防や健康増進を目指し、関係者間で密接な連携を図りつつ、地域の実情を踏まえて、保健事業を総合的かつ効果的に推進していくための必要な提言や助言を行う「健康づくり推進協議会」（以下「協議会」という。）の設置・運営等に関する必要な事項を定めるものとする。

2 目的

「協議会」は、中長期的な観点から全国健康保険協会群馬支部（以下「支部」という。）における保健事業を円滑かつ効果的に推進するため、全国健康保険協会群馬支部長（以下「支部長」という。）に対し必要な提言及び助言を行うものとする。

3 委員及び委員の委嘱

（１）協議会の委員（以下「委員」という。）は、１３名以内（支部長を含む。）とする。

（２）協議会は、次に掲げる委員をもって構成するものとし、支部長が委嘱する。

被保険者代表（健康保険委員代表）

事業主代表

保健医療関係者

学識経験者

行政やその他必要と認められる者

なお、協議会は、必要に応じ委員以外の者を出席させ意見を聞くことができるものとする。

（３）支部長は、委員が次のいずれかに該当するとき、これを解任することができる。

職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えないと認められるとき

委員としてふさわしくない非行があったとき

4 任期

（１）委員の任期は２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（２）委員から任期満了１か月前までに辞退の申し出がない限り、再任することとする。

5 議長

- (1) 協議会に議長を置き、委員の互選により選任する。
- (2) 議長は、協議会の議事を整理する。議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、あらかじめ議長が指名する副議長がその職務を行う。

6 事務局

事務局は支部の職員のうちから、支部長が必要と認める人員を以て構成する。

7 協議会の招集

協議会は、原則年 2 回開催とし、支部長が招集する。

8 協議項目

協議会は、支部が実施する保健事業の基本方針、計画、手法、評価等について次の事項を協議する。

加入者の健康増進に関すること

生活習慣病予防健診に関すること（被扶養者に対する特定健康診査を含む）

保健指導の実施に関すること

その他の保健事業に関すること

9 委員謝金

原則 1 回につき 1 2 , 5 0 0 円とする。

10 旅費交通費

全国健康保険協会旅費規定に基づき、最も経済的な通常の経路及び方法によって計算する。

11 その他

上記のほか、必要な事項は、支部長が別に定めることとする。

付則

この要綱は、平成 2 5 年 1 2 月 1 日から施行する。

健康づくり推進協議会(イメージ)

支部

健康づくり推進協議会

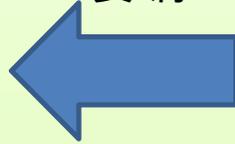
委員(15名以内)

- ・被保険者代表
- ・事業主代表
- ・健康保険委員代表
- ・保健医療関係者
- ・学識経験者
- ・その他

協議事項

- ・保健事業の基本方針
- ・内容、方法、評価等

委嘱

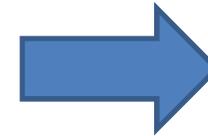


支部長

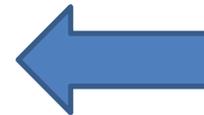


提言、助言

計画



評議会



承認

本部

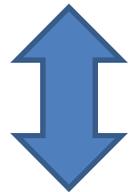


計画、予算、前渡金

委嘱



各種事業の協力、連携



健康保険委員(健康保険サポーター)

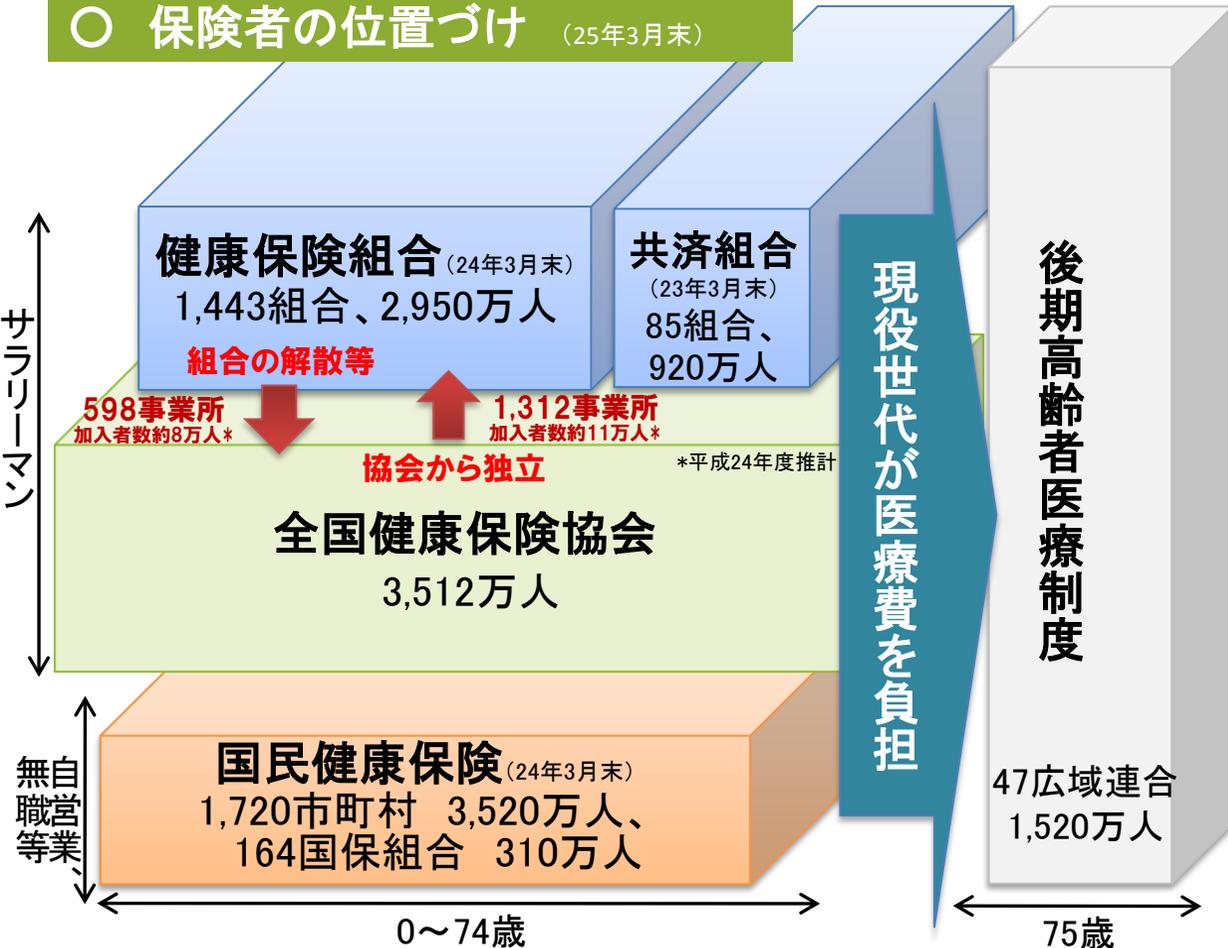
協会けんぽ概要

協会けんぽの規模

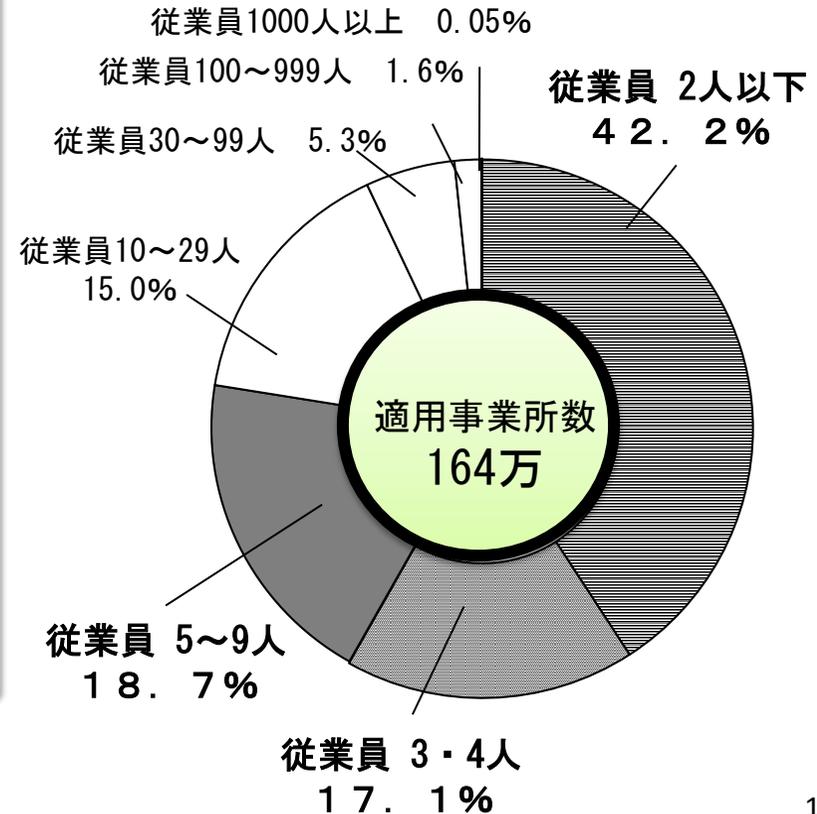
- 3500万人(国民の3.6人に1人)が加入者。
- 健保組合を作ることができない中小企業・小規模企業が多く、事業所数の3/4以上が従業員9人以下。

➡ 協会けんぽは、サラリーマンの医療保険の最後の受け皿。

○ 保険者の位置づけ (25年3月末)

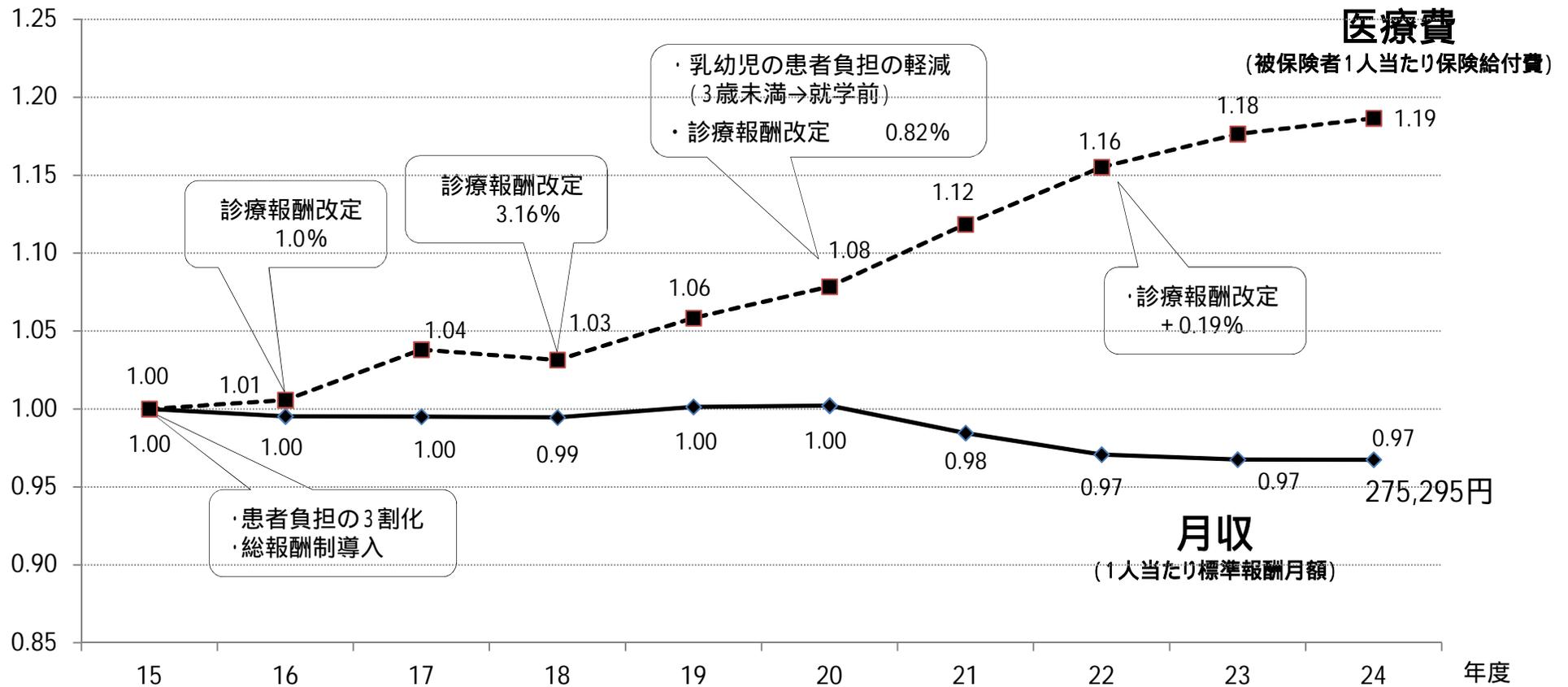


○ 協会の事業所規模別構成 (25年3月末)



協会けんぽの保険財政の傾向

近年、医療費支出(1人当たり保険給付費)が保険料収入(1人当たり標準報酬)の伸びを上回り、格差が拡大。

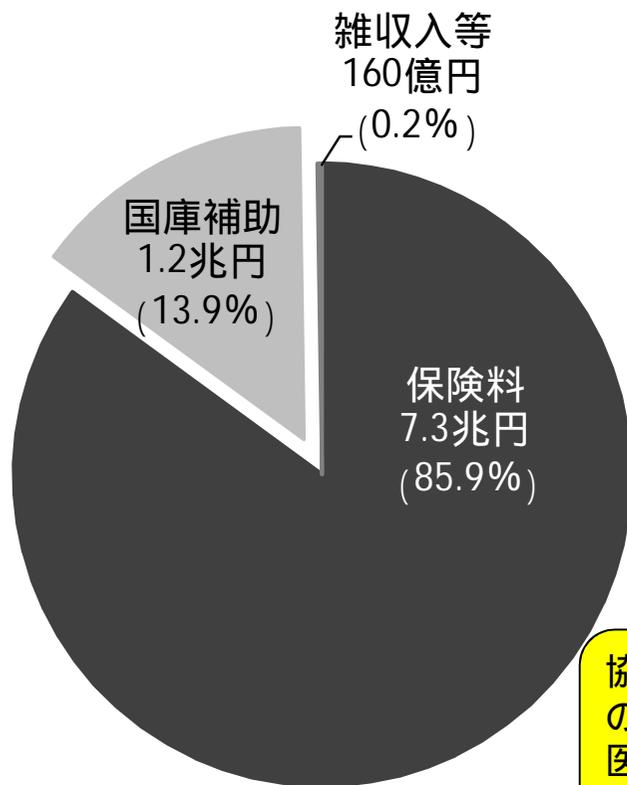


(注) 数値は平成15年度を1とした場合の指数で表示したもの

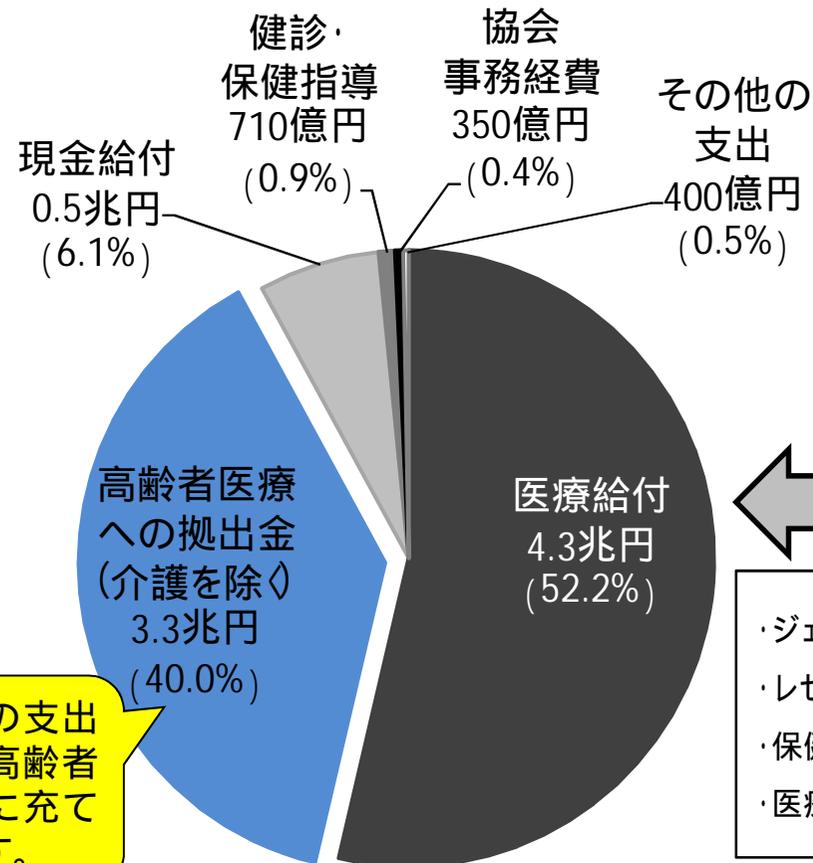
協会けんぽの財政構造(24年度決算)

- 協会けんぽ全体の収支は約8兆円だが、その約4割、約3兆円以上が高齢者医療への拠出金に充てられており、平成24年度ではさらに3,000億円増加。25年度もさらに2,100億円増加の見込み。

収入 8兆5,127億円



支出 8兆2,023億円



協会けんぽの支出の約4割が高齡者医療の負担に充てられています。

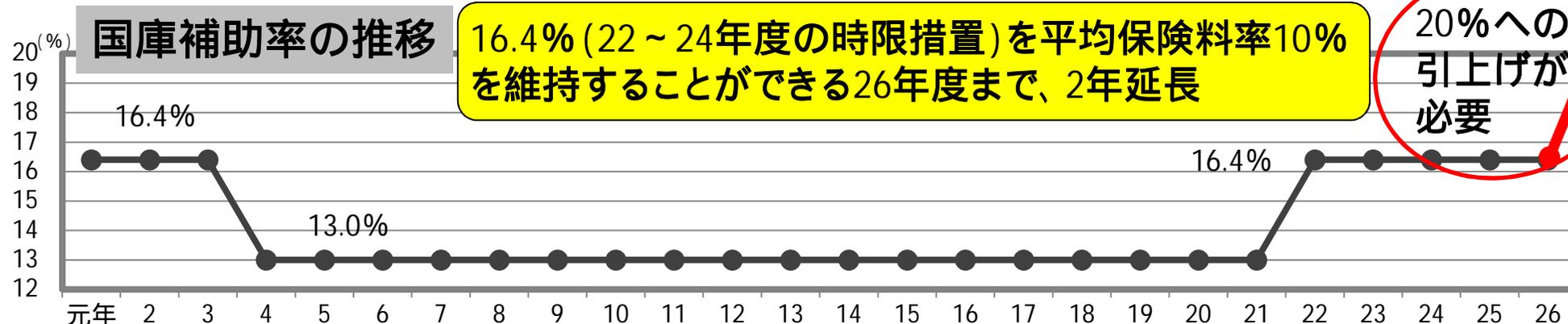
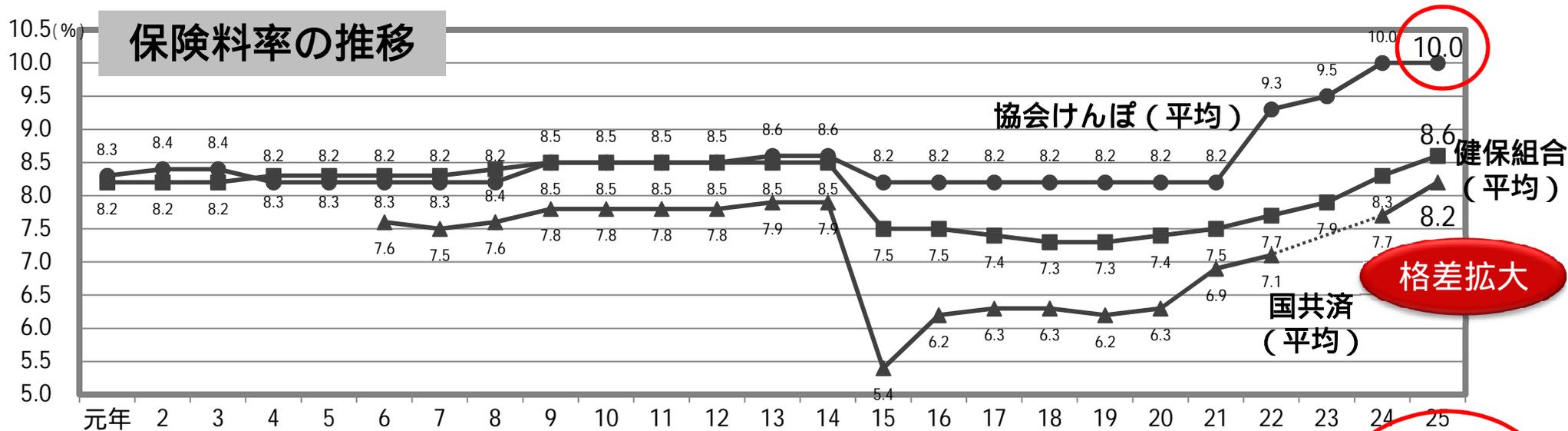
医療費の適正化

- ・ジェネリックの使用促進
- ・レセプト点検
- ・保健事業
- ・医療費情報の提供

(注) 端数整理のため、計数が整合しない場合がある。

他の被用者保険との保険料率格差の拡大

- 平成15年度から総報酬制(賞与も保険料算定の基礎とする)に移行してから、保険料の基礎となる報酬水準の格差が拡大。中小企業を多く抱える協会けんぽと健保組合との間で体力差が顕著に示されている。被用者保険間の財政力を調整する目的で協会けんぽに国庫補助が投入されているが、現行の国庫補助割合では、その調整機能を果たしていない。国庫補助率について、現行の16.4%から20%への引上げを国に要望しているが、実現していない。



出典：健康保険組合の保険料率(調整保険料率含む)は、「組合決算概況報告」「23年度健保組合決算見込」、「24年度健康保険組合の予算早期集計」による。
協会けんぽの保険料率は、平成20・21・22・23・24年度は決算。国共済の保険料率は、厚生労働省保険局調査課「医療保険に関する基礎資料」等。

協会けんぽ・健保組合・共済組合の比較

- 加入者の収入が最も低い協会けんぽが、最も高い保険料率10%となっている。
 収入が低い者ほど高率の負担を強いられるという逆進的なものとなっており、社会保障制度とは到底言えない状況。

	協会けんぽ	健保組合	共済組合
被保険者	主として中小企業の サラリーマン	主として大企業の サラリーマン	国家・地方公務員 及び私立学校職員
保険者数 (24年3月末)	1	1,443	85 (注1)
加入者数 (24年3月末)	3,488万人 本人 1,963万人 家族 1,525万人	2,950万人 本人 1,555万人 家族 1,395万人	919万人 (注1) 本人 453万人 家族 467万人
加入者平均年齢 (23年度)	36.3歳	34.1歳	33.4歳 (注1)
被保険者1人当たり 標準報酬総額(年額)	370万円 (23年度)	536万円 (23年度)	650万円 (22年度)
保険料率	10.00% (25年度全国平均)	8.635% (25年度予算 早期集計平均)	8.20% (国共済) (25年度平均)
同じ30万円の給料なら、 保険料額(月額)は… 労使折半前の保険料額(月額)	<u>30,000円</u>	<u>25,905円</u>	<u>24,600円</u>

出典 平成21年12月4日社会保障審議会医療保険部会資料を一部更新

平成23年9月1日社会保障審議会短時間労働者への社会保険適用等に関する特別部会資料を一部抜粋

平成25年4月4日第8回社会保障制度改革国民会議資料を一部抜粋。(地共済9.36%、私学共済7.39%(いずれも25年度))

注1) 共済組合について、保険者数及び加入者数は平成23年3月末の数値であり、加入者平均年齢は平成22年度の数値である

25年度の都道府県単位保険料率

全国平均保険料率は10.00%であるが、都道府県ごとに異なる。
最高は佐賀の10.16%、最低は長野の9.85%。

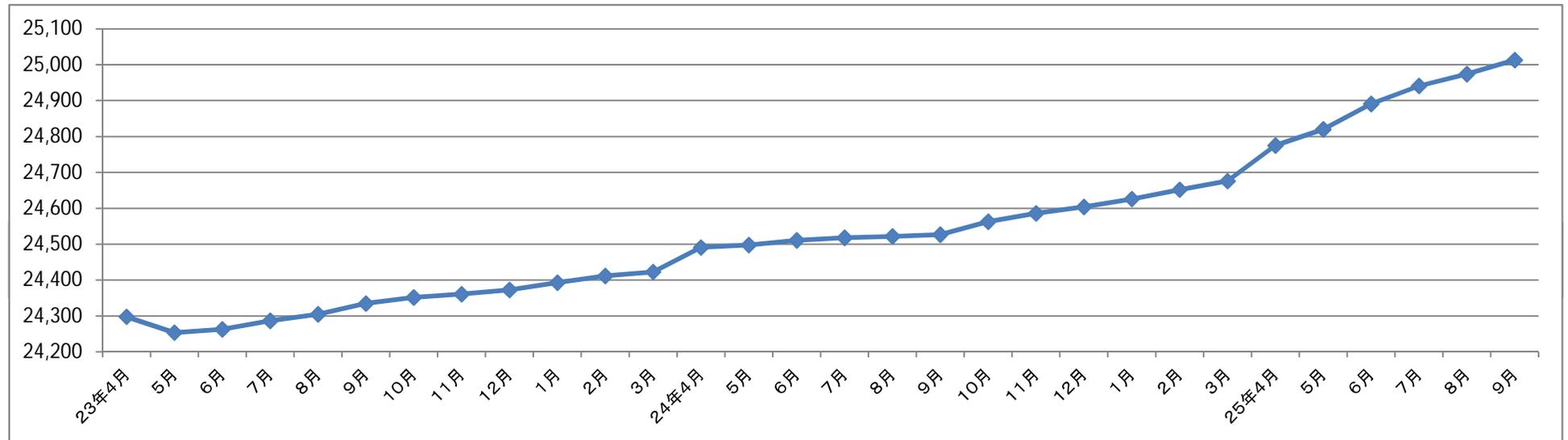
北海道	10.12%	石川県	10.03%	岡山県	10.06%
青森県	10.00%	福井県	10.02%	広島県	10.03%
岩手県	9.93%	山梨県	9.94%	山口県	10.03%
宮城県	10.01%	長野県	9.85%	徳島県	10.08%
秋田県	10.02%	岐阜県	9.99%	香川県	10.09%
山形県	9.96%	静岡県	9.92%	愛媛県	10.03%
福島県	9.96%	愛知県	9.97%	高知県	10.04%
茨城県	9.93%	三重県	9.94%	福岡県	10.12%
栃木県	9.95%	滋賀県	9.97%	佐賀県	10.16%
群馬県	9.95%	京都府	9.98%	長崎県	10.06%
埼玉県	9.94%	大阪府	10.06%	熊本県	10.07%
千葉県	9.93%	兵庫県	10.00%	大分県	10.08%
東京都	9.97%	奈良県	10.02%	宮崎県	10.01%
神奈川県	9.98%	和歌山県	10.02%	鹿児島県	10.03%
新潟県	9.90%	鳥取県	9.98%	沖縄県	10.03%
富山県	9.93%	島根県	10.00%		

群馬支部概要

群馬支部 適用事業所数、被保険者数(一般・任継)、被扶養者数、現物給付・現金給付件数

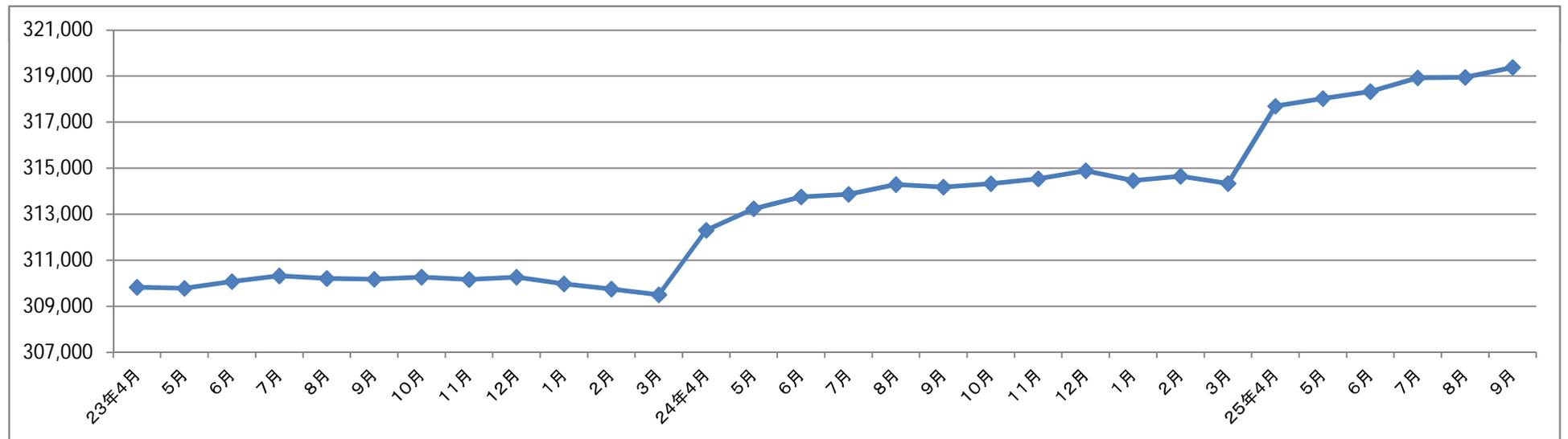
1 適用事業所数の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	24,298	24,254	24,263	24,287	24,305	24,335	24,352	24,361	24,373	24,393	24,412	24,423
24年度	24,491	24,498	24,511	24,518	24,522	24,527	24,563	24,586	24,604	24,626	24,652	24,676
25年度	24,775	24,820	24,891	24,941	24,974	25,013						



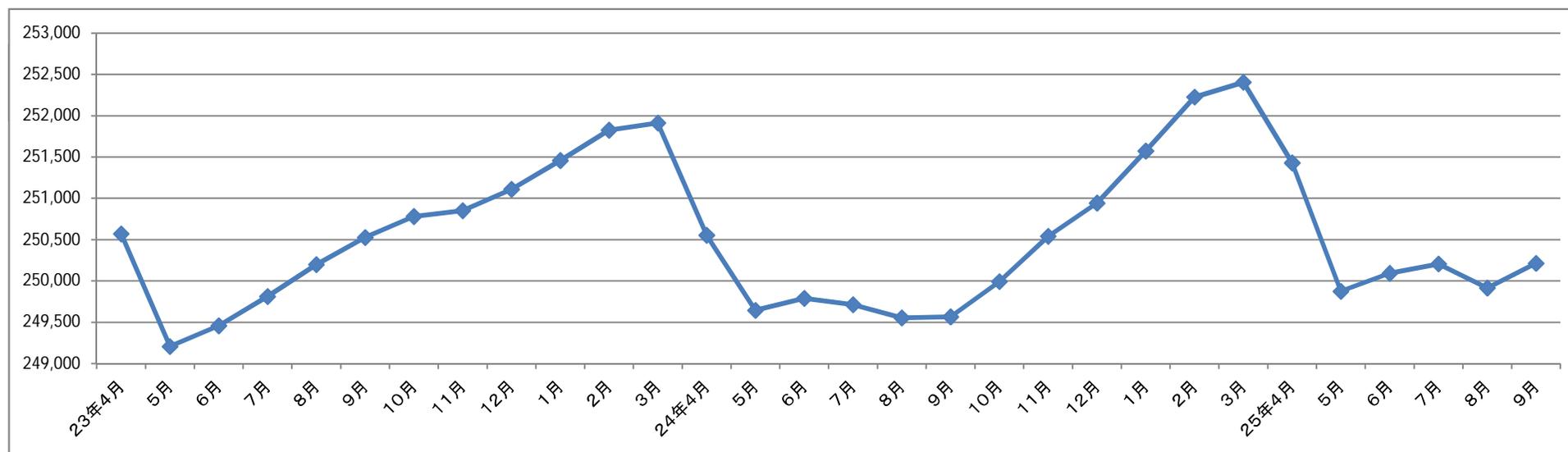
2 被保険者数の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	男子	196,508	196,258	196,382	196,588	196,507	196,615	196,548	196,438	196,503	196,349	196,258	196,009
	女子	113,324	113,529	113,699	113,738	113,708	113,565	113,729	113,734	113,770	113,633	113,501	113,498
	合計	309,832	309,787	310,081	310,326	310,215	310,180	310,277	310,172	310,273	309,982	309,759	309,507
	任意継続(再掲)	5,004	4,827	4,718	4,654	4,648	4,567	4,557	4,544	4,479	4,531	4,509	4,402
24年度	男子	197,661	198,129	198,308	198,305	198,646	198,493	198,629	198,692	198,870	198,757	198,992	198,648
	女子	114,647	115,116	115,451	115,564	115,647	115,692	115,705	115,853	116,026	115,706	115,660	115,693
	合計	312,308	313,245	313,759	313,869	314,293	314,185	314,334	314,545	314,896	314,463	314,652	314,341
	任意継続(再掲)	4,280	4,235	4,174	4,145	4,159	4,129	4,102	4,107	4,094	4,112	4,085	4,059
25年度	男子	200,220	200,399	200,485	200,806	200,835	200,982						
	女子	117,477	117,632	117,848	118,124	118,116	118,399						
	合計	317,697	318,031	318,333	318,930	318,951	319,381						
	任意継続(再掲)	4,105	4,043	4,000	3,993	3,973	3,951						



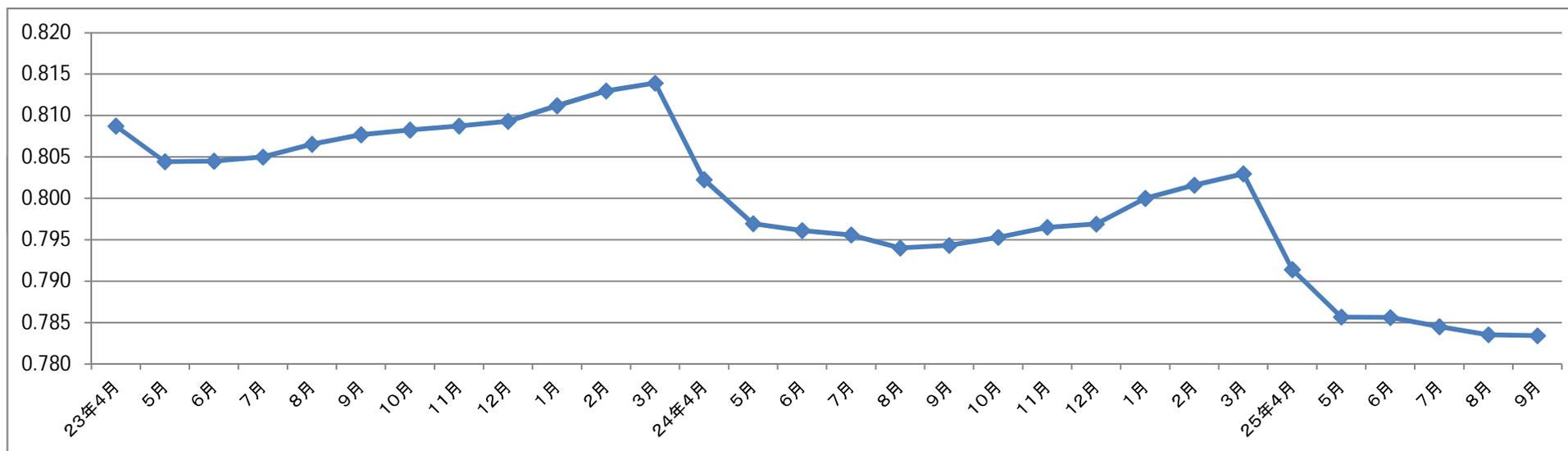
3 被扶養者数の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	男子	82,923	82,409	82,550	82,793	83,019	83,164	83,383	83,509	83,665	83,885	84,122	84,228
	女子	167,648	166,798	166,909	167,019	167,180	167,363	167,399	167,343	167,445	167,573	167,704	167,685
	合計	250,571	249,207	249,459	249,812	250,199	250,527	250,782	250,852	251,110	251,458	251,826	251,913
24年度	男子	83,516	83,089	83,254	83,237	83,190	83,274	83,565	83,868	84,108	84,463	84,754	84,925
	女子	167,038	166,556	166,536	166,477	166,364	166,292	166,428	166,674	166,835	167,111	167,473	167,481
	合計	250,554	249,645	249,790	249,714	249,554	249,566	249,993	250,542	250,943	251,574	252,227	252,406
25年度	男子	84,309	83,531	83,697	83,724	83,638	83,860						
	女子	167,121	166,344	166,396	166,483	166,278	166,354						
	合計	251,430	249,875	250,093	250,207	249,916	250,214						



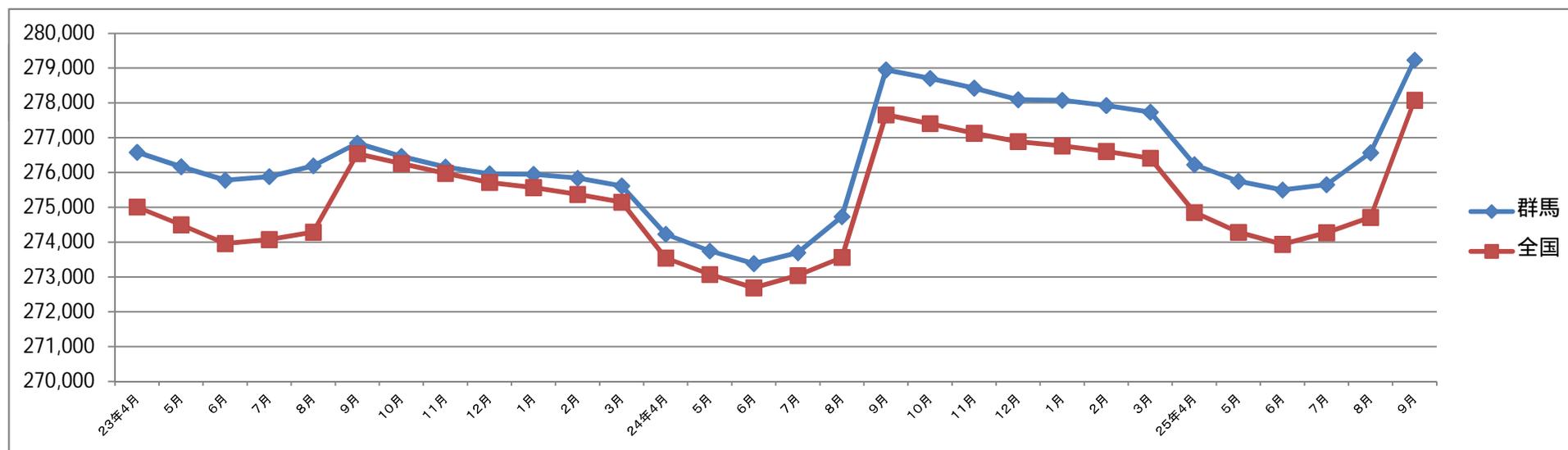
4 加入者総数(本人+家族)の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	加入者	560,403	558,994	559,540	560,138	560,414	560,707	561,059	561,024	561,383	561,440	561,585	561,420
	扶養率	0.809	0.804	0.804	0.805	0.807	0.808	0.808	0.809	0.809	0.811	0.813	0.814
24年度	加入者	562,862	562,890	563,549	563,583	563,847	563,751	564,327	565,087	565,839	566,037	566,879	566,747
	扶養率	0.802	0.797	0.796	0.796	0.794	0.794	0.795	0.797	0.797	0.800	0.802	0.803
25年度	加入者	569,127	567,906	568,426	569,137	568,867	569,595						
	扶養率	0.791	0.786	0.786	0.785	0.784	0.783						



5 平均報酬月額の様態

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	平均	276,583	276,169	275,784	275,884	276,195	276,846	276,467	276,162	275,967	275,948	275,840	275,615
	男子	311,521	311,226	310,801	310,728	311,010	311,280	310,914	310,560	310,314	310,314	310,201	309,982
	女子	215,999	215,565	215,302	215,660	216,029	217,230	216,934	216,750	216,642	216,567	216,426	216,263
24年度	平均	274,232	273,748	273,387	273,700	274,734	278,953	278,707	278,428	278,096	278,080	277,926	277,738
	男子	308,456	307,904	307,545	307,955	309,163	313,881	313,563	313,256	312,852	312,775	312,498	312,359
	女子	215,227	214,959	214,715	214,918	215,596	219,028	218,870	218,699	218,523	218,482	218,445	218,293
25年度	平均	276,227	275,750	275,502	275,655	276,571	279,235						
	男子	310,889	310,304	310,097	310,211	311,318	314,155						
	女子	217,150	216,884	216,647	216,912	217,489	219,958						



群馬支部保健事業概要

群馬支部の保健事業(健診と保健指導)

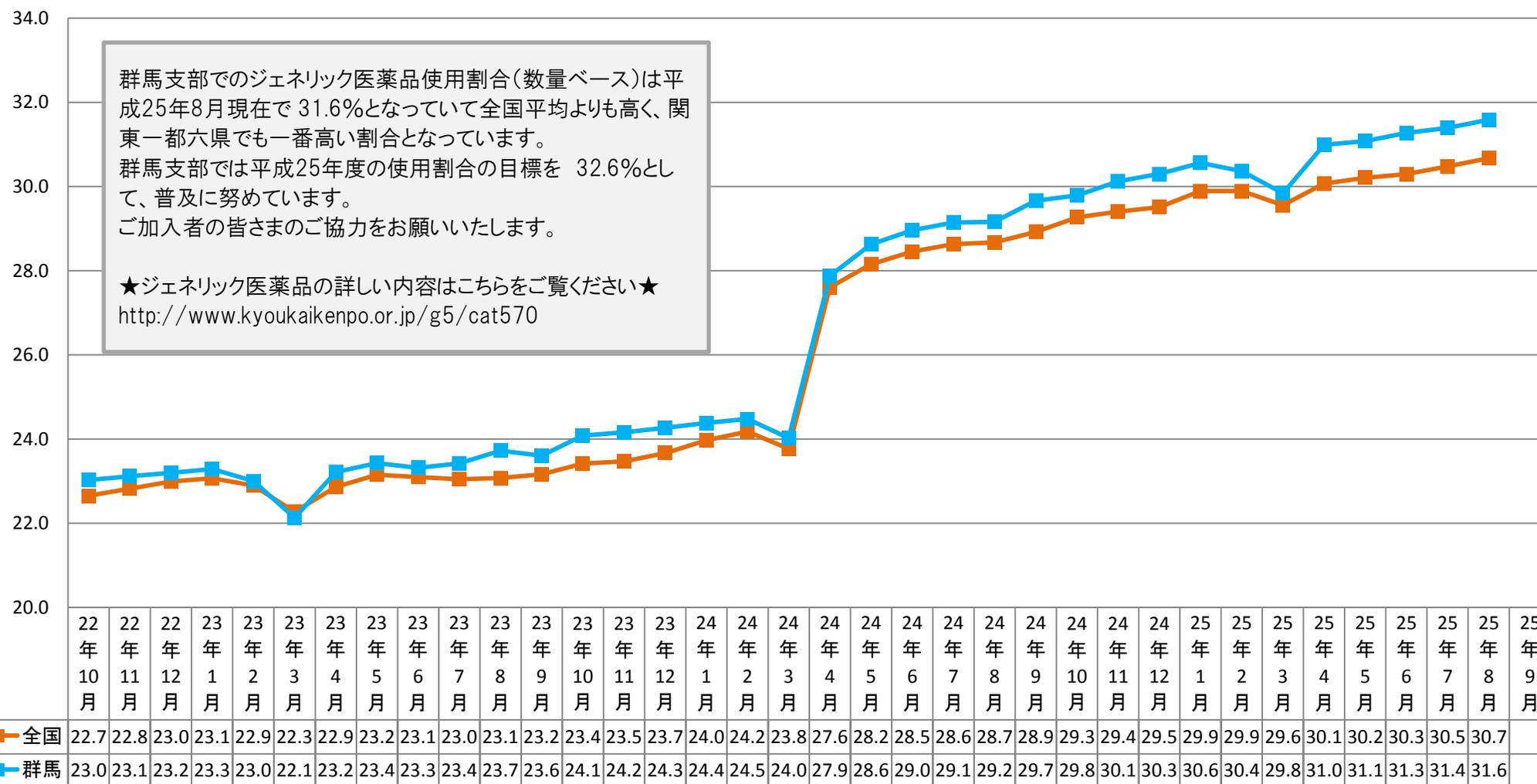
健診の種類		対象者	自己負担金	保健指導	
被保険者	生活習慣病予防健診	一般健診	35歳以上74歳	最高6,843円(18,007円)	協会保健師による事業所訪問 一部健診機関で実施(委託) 休日の保健指導(隔月で計画) * 無料でご利用できます
		付加健診	一般健診を受診する 40歳・50歳の方	最高4,583円(9,166円)	
		子宮頸がん検診	20歳以上偶数年女性	最高630円(2,100円)	
		乳がん検診	40歳以上偶数年女性	最高1,610円(最高5,365円)	
		肝炎ウイルス検査	一般健診受診者(任意) 肝機能異常者GPT36以上	最高595円(1,984円)	
* 県内48健診実施機関と契約(25年度)。 * 案内は事業所宛での送付。申し込みは、申込書の提出またはインターネットによる申し込み。					
被扶養者	特定健康診査	40歳以上74歳	最高1,550円(最高10,647円)	委託機関での実施	
	* 県内約1000ヵ所の医療機関と契約。 * 25年度から案内(受診券)は被保険者自宅へ直送。協会への申し込み不要。直接医療機関を受診。			* 県内約240ヵ所の実施機関と契約。 * 対象者には利用券を発行。 * 最高1,050円(積極的支援23,100円、 動機づけ支援7,350円)	

【参考】

健診の種類		検査の内容
生活習慣病予防健診	一般健診	診察等：問診、視診、触診、聴打診など 身体計測：身長、体重、腹囲、視力、聴力 血圧測定 尿検査：尿たんぱく、尿潜血、尿糖 便潜血検査：大腸がん検査 血液検査：脂質、肝機能、糖尿病、痛風、腎機能 心電図検査 胸部レントゲン検査 胃部レントゲン検査(胃内視鏡検査)
	付加健診	尿沈渣顕微鏡検査 血液学的検査：血小板数、末梢血液像 生化学的検査：総たんぱく、総ビリルビン、アミラーゼ、LDH 眼底検査 肺機能検査 腹部超音波検査
	子宮頸がん検診	問診、細胞診検査
	乳がん検診	問診、視診、触診 乳房エックス線検査 * 40歳～48歳 レントゲン2方向、50歳以上、レントゲン1方向
	肝炎ウイルス検査	HCV抗体検査、HBs抗原検査
特定健康診査	基本的な健診	診察：問診、視診、触診、聴打診など 身体計測：身長、体重、腹囲測定 血圧測定 血液検査：脂質、肝機能、糖尿病 尿検査
	詳細な健診	心電図検査 眼底検査 貧血検査：赤血球数、血色素量など * 昨年度の健診結果などに基づいて医師の判断により実施します

ジェネリック医薬品使用状況(数量ベース・調剤分)

(%)



群馬支部でのジェネリック医薬品使用割合(数量ベース)は平成25年8月現在で31.6%となっていて全国平均よりも高く、関東一都六県でも一番高い割合となっています。
 群馬支部では平成25年度の使用割合の目標を32.6%として、普及に努めています。
 ご加入者の皆さまのご協力をお願いいたします。

★ジェネリック医薬品の詳しい内容はこちらをご覧ください★
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/g5/cat570>

注1. 協会けんぽ(一般分)の調剤レセプト(電子レセプトに限る)について集計したものの(算定ベース)です。

注2. 加入者の適用されている事業所所在地の都道府県毎に集計したものです。

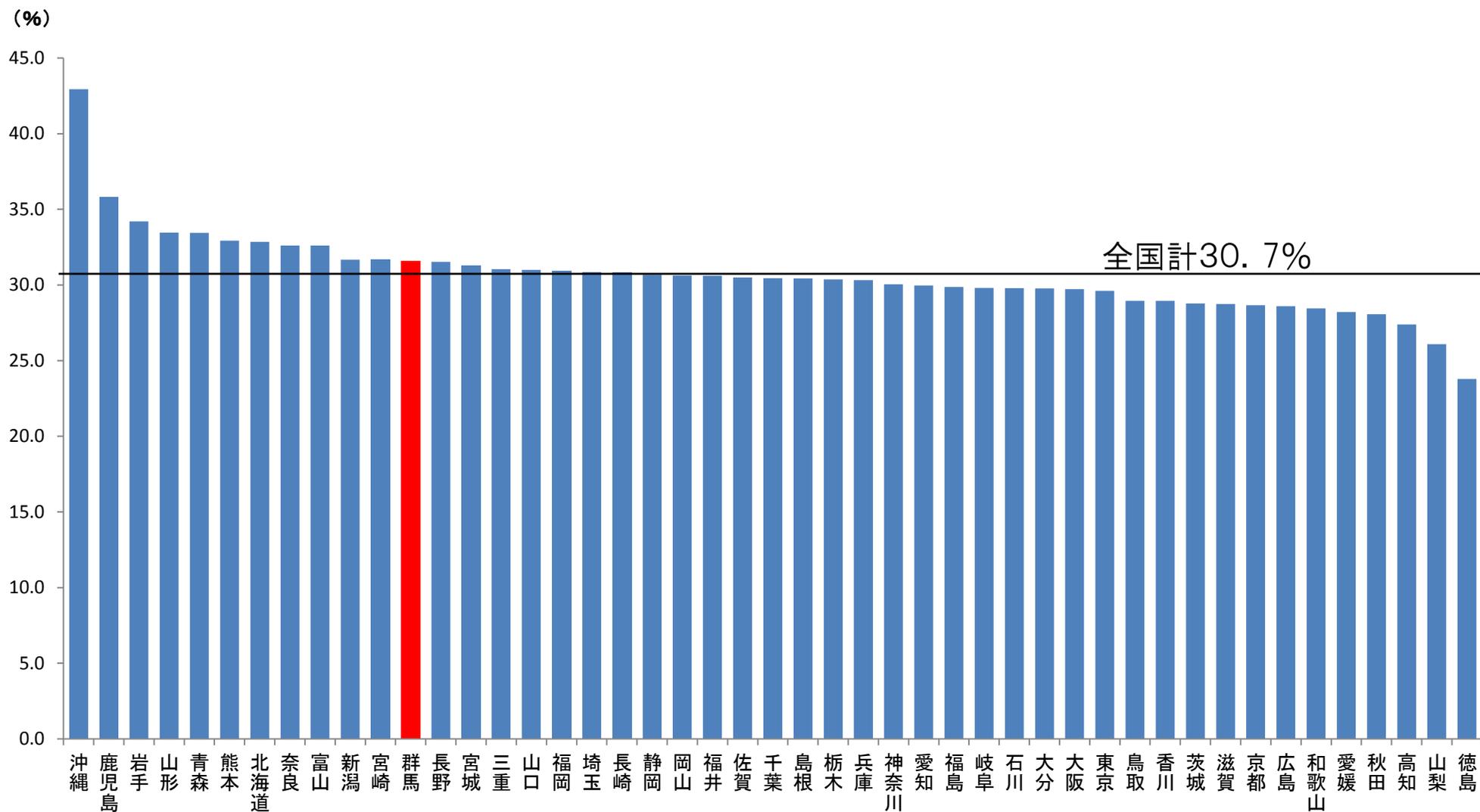
注3. 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいいます。

注4. 平成22年4月以降は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出から、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤は除外しています。

注5. 平成24年4月以降は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出から、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤は除外しています。

このことによる平成24年4月のジェネリック割合(数量ベース)への影響は+2.3%ポイントとなっています。

ジェネリック医薬品使用状況(数量ベース・調剤分) (平成25年8月診療分)



注1. 協会けんぽ(一般分)の調剤レセプト(電子レセプトに限る)について集計したものの(算定ベース)です。

注2. 加入者の適用されている事業所所在地の都道府県毎に集計したものです。

注3. 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいいます。

注4. 平成22年4月以降は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出から、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤は除外しています。

注5. 平成24年4月以降は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出から、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤は除外しています。

このことによる平成24年4月のジェネリック割合(数量ベース)への影響は+2.3ポイントとなっています。

平成25年度 群馬支部事業計画(保健グループ)実施状況

保健事業													
健診													
			月	6月	9月	12月	3月		月	6月	9月	12月	3月
			43	生活習慣病予防健診 目標実施率51.5% (40歳以上被保険者187,841人×51.5%=96,738人)	通期	累計人数	25,761	55,271	80,656	96,738		累計人数	31,039
			進捗率	26.6%	57.1%	83.4%	100.0%		進捗率	32.1%	54.0%		
			<ul style="list-style-type: none"> 本部目標は50.1%だが、前年度の実績から1.5%増の51.5%を目標とする。 健診実施機関の公募を行い、バス健診中心の1医療機関が増え48医療機関と契約。検診車有の機関は16機関に増えた。 ぐんまだより、協会ホームページ、FMぐんま等の広報を通じて被保険者に対して制度周知を行う。 健康保険委員研修会での周知。 					<ul style="list-style-type: none"> 10月末現在62,006人実施、進捗率64% 10月12日前橋まつりでイベントブースを設営し、219人に対し血管年齢測定及び肌水分量測定を行い保健事業をアピールした。11月3日には県民マラソンでも483人に対し同様のアピールを行った。 					
44	事業者健診データの取り込み 目標実施率5% (被保険者187,841人×5%=9,392件)	通期	累計人数	0	2,772	5,544	9,392		累計人数	38	202		
			進捗率	0.0%	29.5%	59.0%	100.0%		進捗率	0.4%	2.2%		
			<ul style="list-style-type: none"> 本部の目標は、6.4%の取得率となっているが、24年度の実績とデータ提供可能実施医療機関が少ないこと、また提供を受けたデータが健診項目が異なることにより「受診」とすることができないことから5%のデータ取得率を目標とする。(24年度の実績 3,937件、2.2%) 県内の全事業所に送付した健診のご案内に、事業者健診結果データの提供依頼記事を掲載した。また、テレマによる勧奨を行うほか、ぐんまだより、ホームページ、FMぐんま等の広報を通じて事業所に対して協力の呼びかけを行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 10月末現在385件取り込み、進捗率4.1% 労働局の協力得られ、連名による文書勧奨と、追ってテレマによる勧奨を実施予定。 					
45	特定健康診査 目標実施率17.0% (被扶養者数68,255人×17.0%=11,603人)	通期	累計人数	1,842	5,191	9,060	11,603		累計人数	2,748	6,503		
			進捗率	15.9%	44.7%	78.1%	100.0%		進捗率	23.7%	56.0%		
			<ul style="list-style-type: none"> 本部の目標どおり17.0%を実施目標とする(24年度の実績 10,003人、14.7%) 受診券は、事業所を通じての間接配布でなく、自宅直送に変更。県内全ての健診実施機関を一覧表にまとめ同封している。 					<ul style="list-style-type: none"> 9月末現在6,503人実施、進捗率56.0% 健診費用の値下がりを受診券直送により、例年より順調な伸び。 前橋市のがん検診とのセット受診を促す文書勧奨を2688通、10月18日発送済み。 					
保健指導													
			月	6月	9月	12月	3月		月	6月	9月	12月	3月
			46	被保険者特定保健指導 目標実施率10.5% (支援対象者21,544人×10.5%=2,262人)	通期	累計人数	563	1,071	1,698	2,262		累計人数	470
			進捗率	24.9%	47.3%	75.1%	100.0%		進捗率	20.8%	40.9%		
			<ul style="list-style-type: none"> 支援対象者数は、健診実施見込者数96,738件及び事業者健診データ取得見込者数9,392件の合計である106,130人に対し、本部より示された積極的支援該当率12.9%、動機付け支援該当率7.4%により算出し、支援対象者数を21,544人とした。(24年度の実績 1,524人、7.8%) 25年度も特定保健指導対象者名簿に基づき特定保健指導に絞った形での実施を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 10月末現在1,082件実施、進捗率47.8% 5月から週3回保健師による電話勧奨実施、健康保険委員を通じた電話勧奨を強化している。 トップセールス：8月～11月20事業所実施、健保委員推薦依頼を含め、保健指導利用拡大を要請。 優良事業所表彰の為の訪問と合わせて、今後も13事業所訪問予定。 					

		6月					9月					12月					3月				
47	特定保健指導の外部委託(アウトソーシング)による実施 目標実施率5% (支援対象者21,544人×5%=1,077人)	通期	累計人数	267	534	801	1,077		累計人数	20	49										
			進捗率	24.8%	49.6%	74.4%	100.0%		進捗率	1.9%	4.5%										
			・実施率は24年度と同じ5%として策定。 ・24年度7実施機関に増えたのに加え、更に5機関増え、計12機関との契約。24年度までは後日対応だったが、25年度から当日対応に変更した機関もあり、現在当日対応の機関は計9機関になった。 ・契約締結後、指導の実施率に反映するのは6ヶ月後の評価が終了した時点となることから、5機関については実績は下期からとなる。					・11月支払い分において56人実施、進捗率5.2%。初回面接数は昨年同月比188人増。													
48	被扶養者特定保健指導 目標実施率5% (支援対象者1,068人×5%=53人)	通期	累計人数	15	30	45	53		累計人数	17	25										
			進捗率	28.3%	56.6%	84.9%	100.0%		進捗率	32.0%	47.0%										
			特定健診実施見込者数11,603人に対し、本部より示された積極的支援該当率2.7%、動機付け支援該当率6.5%により算出し、支援対象者を1,068人とし、その5%にあたる53人を目標とする。(24年度の実績 66人、3.73%)					・9月末現在25人実施、進捗率47.0%													
その他の保健事業																					
49	休日の特定保健指導実施	5月、7月、9月、11月、1月、3月	「平日の勤務中は、保健指導の実施はできない」といった事業所の対象者に、休日に保健指導を実施する。動機付け支援対象者にのみ勸奨文を送付し、群馬支部内(支部会議室)で土曜日に実施する。なお、これまで同様、申し込みの際に平日希望の場合平日対応を行う。					・6月、8月、9月に合計334件の勸奨文送付し、4人の初回面接を実施した。11月には195件勸奨文送付し、4人実施予定。 ・今後は1月、3月実施予定。													
50	特定保健指導継続率向上対策としての支援ツール配付	通期	積極的支援、動機付け支援、それぞれの取り組み強化に合わせた支援ツールを配付し、継続意欲を高めることで中断率の減少を図る。					・パンフレット3種類購入し、7月から活用開始。動機づけ支援対象者には、支援開始後1-2カ月で支部より一律に送付。積極的支援対象者には担当保健師が具体策に合うものを手渡ししている。													
51	保健事業の優良事業所表彰	11月ごろを予定	特定保健指導の実施率が高い事業所に対して表彰を行い、それを広報することで、表彰された事業所並びに他の事業所に対しても職場の健康づくりに対する意識の促進及び、特定保健指導への受け入れ協力を図る。					・9月末で保健師、保健指導事務担当より推薦状提出。10月17日選定委員会開催し表彰対象7事業所を選定。11月訪問して表彰。今後ホームページ掲載等予定。													
52	地方のイベントを利用した健康づくり推進事業	10月、11月	県民が広く集うイベント(前橋まつり、県民マラソン)において、ブース出展することで、保健事業のPRを行う。ブースでは健康関連の測定や健康相談を行い、協会の事業への関心を高め、併せて健康づくりへの意識向上を促す。					・10月12日前橋まつりにて、血管年齢測定及び肌水分量測定を219人実施。また健康相談コーナーにおいて血圧測定・スモーカーライザー検査等を68名実施した。 ・11月3日の県民マラソンでも血管年齢測定及び肌水分量測定483人のほか、健康相談79人も実施した。													
53	【新規】未治療者に対する受診勧奨の実施	10月末開始	健診結果に基づき、治療を要すると判定されても放置する方に対し受診を促すことで、重症化を予防する。25年度は、血圧・血糖の検査結果において要治療と判定されても3カ月間受診行動のみられない対象者に対し、文書による受診勧奨を行う。25年度は本部からの一次勧奨のみ実施。					・10月10日より、一次勧奨として本部より発送開始。今後は問い合わせ対応。													

群馬支部その他健康づくり事業

こころと体のセルフチェック を試してみませんか？

このたびリニューアル！『こころと体のセルフチェック』とは...

携帯電話やパソコンを利用して、「こころ」と「体」の状態を気軽にチェックできるシステムです。氏名、年齢などの個人情報の入力は一切不要で、利用料もかかりません（通信料はご利用者様負担）。

ゲーム感覚で生活習慣をチェックしてみましょう

メタボリックシンドロームは、現在の生活習慣を見直すことで、予防や改善をすることができます。まずは『メタボチェック』で気軽に自己診断。生活習慣の改善には、『活動量チェック』『引き算ダイエット』『アルコールチェック』がお役に立ちます。あなたの健康づくりにぜひご活用ください。



こころの悩みや心配をひとりで抱えないでください



『こころの体温計』で、現在のこころの状態をチェックしてみましょう。結果と一緒に相談先も表示されます。『家族モード』では、大切な方のストレスをチェックすることもできます。

また、赤ちゃんを育てているお母さんには『赤ちゃんママチェック』があります。つらいときには、ひとりで悩まず相談してみましょう。

「こころと体のセルフチェック」へのアクセス方法

保険証をお手元にご準備ください。

携帯電話の場合は、右の二次元コードからご利用いただけます。

パソコンの場合は、群馬支部のホームページからご利用ください。



群馬支部ホームページ

協会けんぽ 群馬

検索

二次元コード



『こころと体のセルフチェック』は、医学的診断をするものではなく、あくまでもこころと体の健康に関心をもっていただくためのものです。結果の如何にかかわらず、心身の不調を感じる方は専門機関に相談されることをおすすめします。



「前橋まつり」に ブース出展しました！



協会けんぽ群馬支部は、初めて今年の「前橋まつり」にブース出展をいたしました。
当日は、血管年齢測定・肌水分量測定・血圧測定などを行い、希望者には当協会支部の保健師による健康相談を行いました。
天候にも恵まれ、多くのみなさまに協会けんぽ群馬支部のブースにお立ち寄りいただきましてありがとうございました。
加入者のみなさまが、ご自身の健康を考えるきっかけになれば良いと職員一同考えております。
協会けんぽ群馬支部は、今後もみなさまの健康づくりを応援します。

協会けんぽ群馬支部のブースの様子

当日は、219名もの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

相談風景

たくさんの方に協会けんぽのブースにお立ち寄りいただきましてありがとうございました。

ブース出展日
平成25年10月12日（土曜日）



群馬支部ホームページURL  <http://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/gunma/>

検索方法は 

協会けんぽ群馬

検索



 全国健康保険協会 群馬支部
協会けんぽ

「ぐんま県民マラソン2013」に 協会けんぽ群馬支部は参加しました！



協会けんぽ群馬支部は、平成25年11月3日（日曜日）に行われました「ぐんま県民マラソン」にブース出展をいたしました。

当日は、血管年齢測定、肌水分量測定、希望者には当協会支部の保健師による健康相談を行いました。ご好評をいただき、483名ものたくさんのみなさまに協会けんぽ群馬支部のブースにお立ち寄りいただきました。

ありがとうございました。

当日の協会けんぽ群馬支部のブース写真

密かに職員も参加
していました！



たくさんのみなさまに
協会けんぽ群馬支部のブースにお立ち寄り
いただきました。

血管年齢測定・肌水分量測定は大変ご好評をいただきました。
男性・女性問わずたくさんのみなさまにブースにお立ち寄りいただいたことに職員一同感謝しています。
ありがとうございました。

「ぐんま県民マラソン2012」「平成25年前橋まつり」「ぐんま県民マラソン2013」アンケート結果比較

実施内容

ぐんま県民マラソン2012
(平成24年11月3日)

血管年齢測定(測定器1台)
健康相談(血压測定)

平成25年 前橋まつり
(平成25年10月12日)

血管年齢測定(測定器2台)
肌水分量測定
健康相談(血压測定・スエ-ガイザ-測定)

ぐんま県民マラソン2013
(平成25年11月3日)

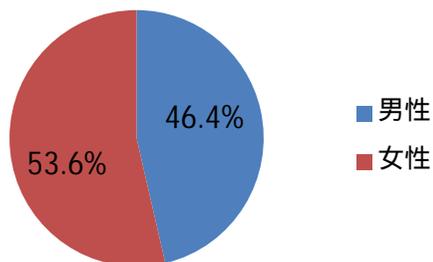
血管年齢測定(測定器2台)
肌水分量測定
健康相談(血压測定)

参加者の性別

前橋まつりは女性の参加者が多く、県民マラソンは男女比がほぼ同じ。

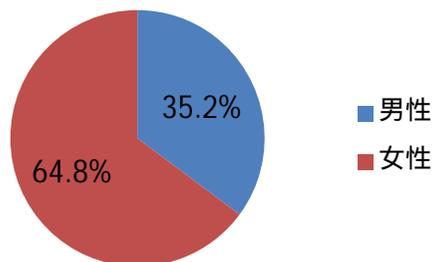
ぐんま県民マラソン2012

参加者数	248人	
男性	115人	46.4%
女性	133人	53.6%



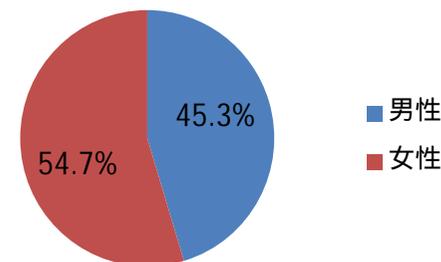
平成25年 前橋まつり

参加者数	219人	
男性	77人	35.2%
女性	142人	64.8%



ぐんま県民マラソン2013

参加者数	483人	
男性	219人	45.3%
女性	264人	54.7%



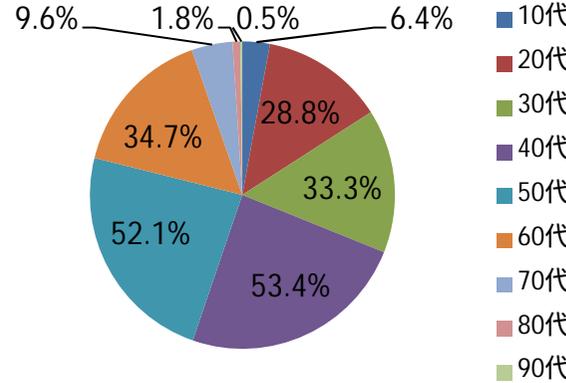
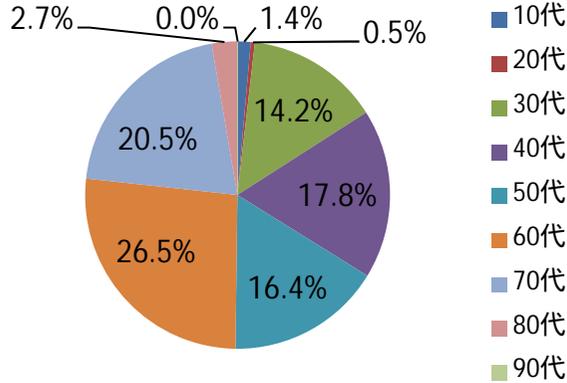
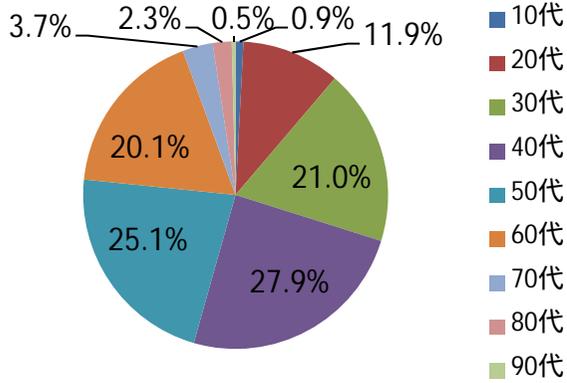
参加者の年代

前橋まつりは60代以上の高齢者の参加が約半数。
逆に県民マラソンは50代以下で4分の3を占める。

ぐんま県民マラソン2012		
	男性	女性
10代	0人	2人
20代	4人	22人
30代	21人	25人
40代	30人	31人
50代	28人	27人
60代	21人	23人
70代	6人	2人
80代	4人	1人
90代	1人	0人

平成25年 前橋まつり		
	男性	女性
10代	1人	2人
20代	0人	1人
30代	8人	23人
40代	12人	27人
50代	17人	19人
60代	20人	38人
70代	16人	29人
80代	3人	3人
90代	0人	0人

ぐんま県民マラソン2013		
	男性	女性
10代	3人	11人
20代	26人	37人
30代	31人	42人
40代	63人	54人
50代	40人	74人
60代	41人	35人
70代	12人	9人
80代	2人	2人
90代	1人	0人



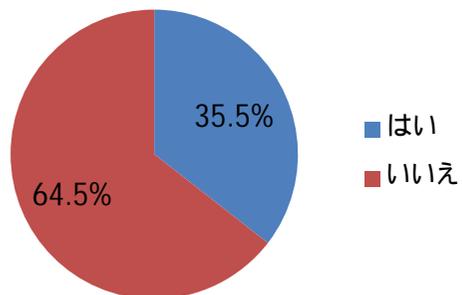
協会けんぽの 知名度

前橋まつりと県民マラソンでは参加者の属性が違うので単純には比較できないが、協会けんぽの知名度は上がってきていると思われる。

ぐんま県民マラソン2012

Q1 「協会けんぽ」をご存知ですか？

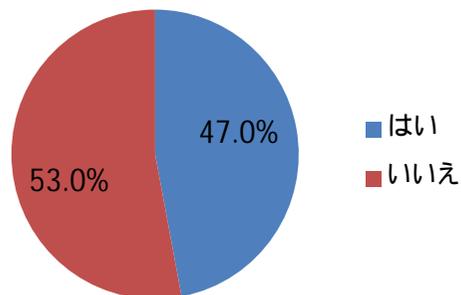
はい	88人	35.5%
いいえ	160人	64.5%



平成25年 前橋まつり

Q1 「協会けんぽ」をご存知ですか？

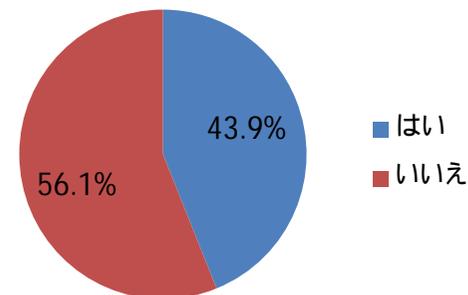
はい	103人	47.0%
いいえ	116人	53.0%



ぐんま県民マラソン2013

Q1 「協会けんぽ」をご存知ですか？

はい	212人	43.9%
いいえ	271人	56.1%



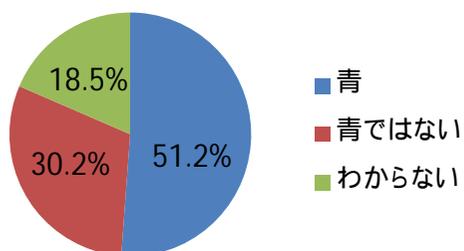
保険証への意識度

県民マラソン2013から質問を変更した。
 県民マラソン等スポーツイベントへは協会けんぽの加入者も多数参加していると思われる。
 前橋まつりは参加者の年齢層が高いため、国保や後期高齢者医療制度の加入者が多いと思われる。

ぐんま県民マラソン2012

Q 2 あなたが持っている保険証の色は何色ですか？

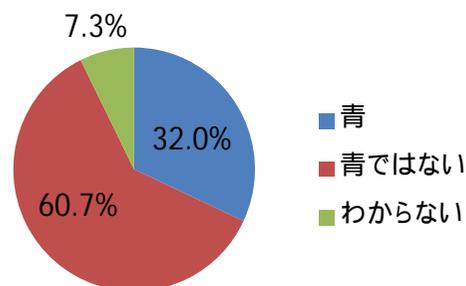
青	127 人	51.2%
青ではない	75 人	30.2%
わからない	46 人	18.5%



平成25年 前橋まつり

Q 2 あなたが持っている保険証の色は何色ですか？

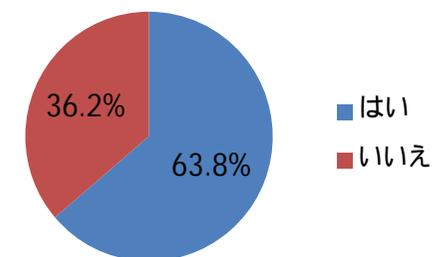
青	70 人	32.0%
青ではない	133 人	60.7%
わからない	16 人	7.3%



ぐんま県民マラソン2013

Q 2 あなたが持っている保険証は協会けんぽの保険証ですか？

はい	308 人	63.8%
いいえ	175 人	36.2%



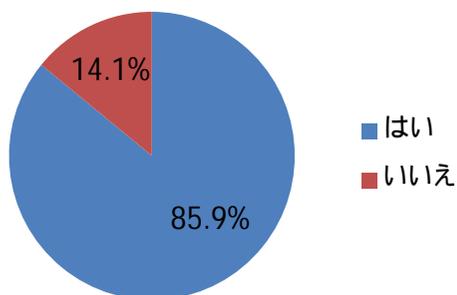
健診受診の状況

健診の受診状況については、県民マラソン参加者の方がやや受診率が高い。前橋まつり参加者は60代以上が約半数を占めていることから、会社等で健診を受ける機会がある若年層よりも、高齢者の方が健診を受けていないケースが多いと考えられる。

ぐんま県民マラソン2012

Q3 毎年健康診断を受けていますか？

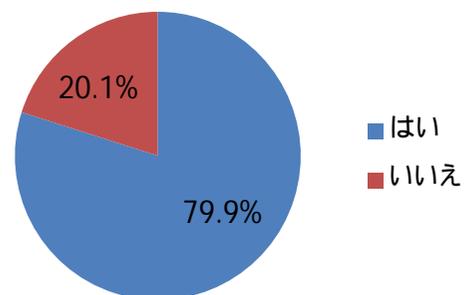
はい	213人	85.9%
いいえ	35人	14.1%



平成25年 前橋まつり

Q3 毎年健康診断を受けていますか？

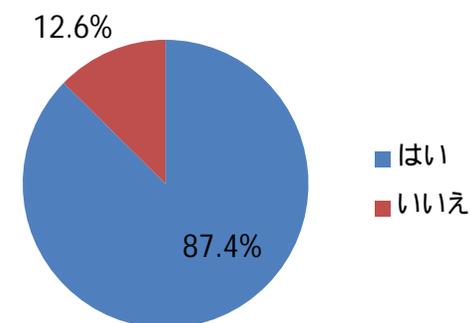
はい	175人	79.9%
いいえ	44人	20.1%



ぐんま県民マラソン2013

Q3 毎年健康診断を受けていますか？

はい	422人	87.4%
いいえ	61人	12.6%



健診の種類

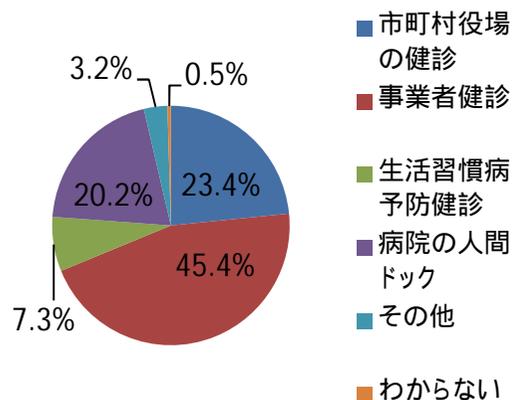
「前橋まつり」は国保や後期高齢者医療制度の加入者が多いため、市町村の健診を受ける者が多い。

「県民マラソン」は現役世代が多いため、事業者健診・生活習慣病予防健診や人間ドックを受ける者が多いと見られる。

ぐんま県民マラソン2012

Q3で「はい」の方が受けている健診

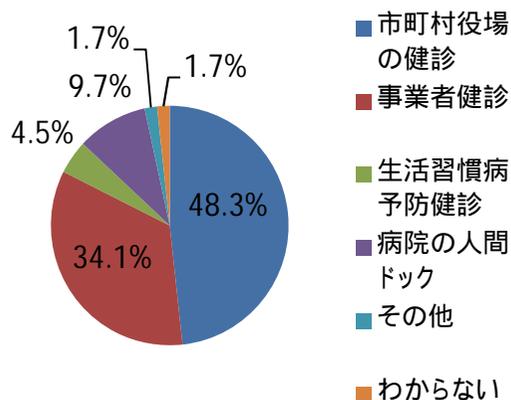
市町村役場の健診	51人	23.4%
事業者健診	99人	45.4%
生活習慣病予防健診	16人	7.3%
病院の人間ドック	44人	20.2%
その他	7人	3.2%
わからない	1人	0.5%



平成25年 前橋まつり

Q3で「はい」の方が受けている健診

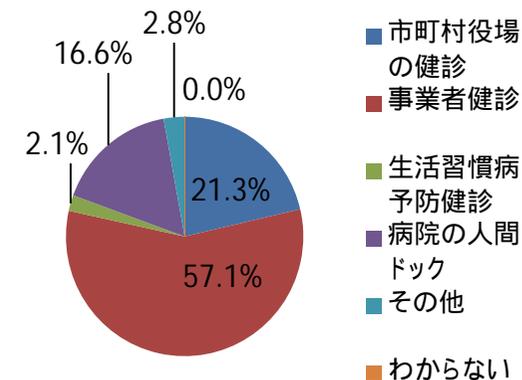
市町村役場の健診	85人	48.3%
事業者健診	60人	34.1%
生活習慣病予防健診	8人	4.5%
病院の人間ドック	17人	9.7%
その他	3人	1.7%
わからない	3人	1.7%



ぐんま県民マラソン2013

Q3で「はい」の方が受けている健診

市町村役場の健診	90人	21.3%
事業者健診	241人	57.1%
生活習慣病予防健診	9人	2.1%
病院の人間ドック	70人	16.6%
その他	12人	2.8%
わからない	0人	0.0%



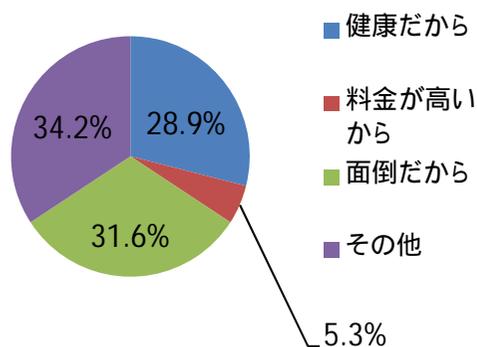
健診を 受けない理由

「健康だから」「面倒だから」という理由で健診を受けない人が多く見られる。重症化予防の観点からも、健診のより積極的な受診勧奨が必要と考えられる。

ぐんま県民マラソン2012

Q3で「いいえ」の方が受けない理由

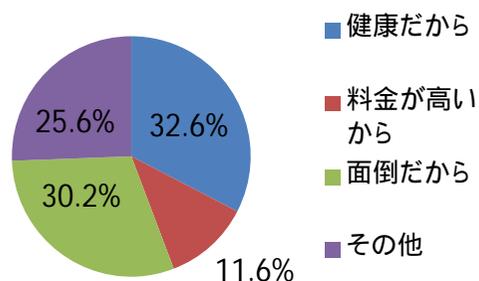
健康だから	11人	28.9%
料金が高いから	2人	5.3%
面倒だから	12人	31.6%
その他	13人	34.2%



平成25年 前橋まつり

Q3で「いいえ」の方が受けない理由

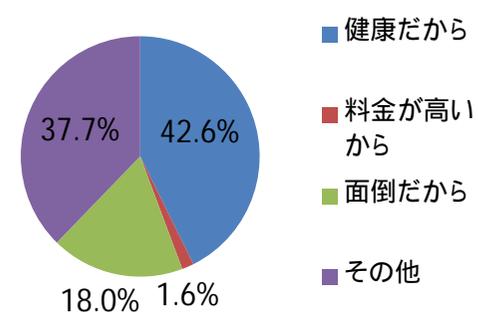
健康だから	14人	32.6%
料金が高いから	5人	11.6%
面倒だから	13人	30.2%
その他	11人	25.6%



ぐんま県民マラソン2013

Q3で「いいえ」の方が受けない理由

健康だから	26人	42.6%
料金が高いから	1人	1.6%
面倒だから	11人	18.0%
その他	23人	37.7%



健康相談 受診者数

今年から、保健師を増員（3人 5人）したため、健康相談（血管年齢測定結果についての解説や血圧測定）への対応能力が向上した。

ぐんま県民マラソン2012

健康相談受診者数	22人
----------	-----

平成25年 前橋まつり

健康相談受診者数	68人
スモーカーライザー測定受診者（再掲）	11人

ぐんま県民マラソン2013

健康相談受診者数	79人
----------	-----

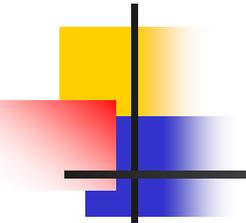
群馬支部健康づくり推進計画 (案)



全国健康保険協会
協会けんぽ

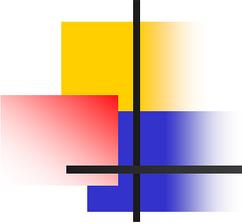
群馬支部の特徴 (参考資料により)

- 現在、医療費は全国平均よりやや低いが、健診結果からは**血圧リスクが高い**。
- 医療費情報から、高血圧症など**循環器疾患の医療費が高い地域が多い**ことが特徴。
- 健診結果と医療費は同様の傾向であることから、今後は重症化予防を含め、疾病予防対策をとる必要がある。
- また、国民健康・栄養調査結果から、生活習慣に関する群馬県の特徴は、**塩分摂取が多く、歩数が少ない**。
- よって、今後、幅広く医療情報を提供することで加入者の健康づくり意識の向上を図り、生活習慣改善などの疾病予防対策を推進することが重要。



協会けんぽ群馬支部では、加入者の疾病予防や健康増進を目指し、いきいき元気に仕事をしていただくため、3本の柱を掲げ健康づくり推進事業にアプローチいたします。

- 第1の柱：健康づくり意識の向上を図るための取組
- 第2の柱：心身健康増進のためのポピュレーションアプローチ
- 第3の柱：特定健診・特定保健指導を通じたハイリスクアプローチ



第1の柱:

健康づくり意識の向上を図るための取組

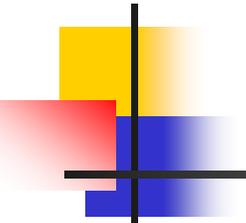
- 対策1: 加入者及び事業主への医療情報提供の推進
 - 具体策1: 事業所勧奨の際の情報提供(事業所健康度診断、事業所統計等)
 - 具体策2: 健康保険委員合同研修の際等に健診結果やレセプトデータ等の医療情報提供
- 対策2: イベントを利用した健康づくり推進
- 対策3: 自治体及び関係団体との連携

第2の柱： 心身健康増進のためのポピュレーション アプローチ

- 対策1：こころと体のセルフチェック

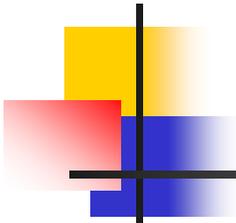


- 対策2：職場の健康づくりセミナー



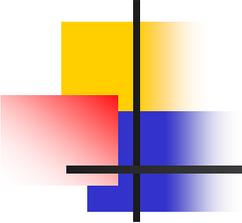
第3の柱：特定健診・特定保健指導を通じたハイリスクアプローチ

- 対策1：医療情報活用による事業所単位の勧奨活動
(事業所健康度診断、事業所統計等の提供)
- 対策2：健康保険委員の活用(電話勧奨強化の協力依頼)
- 対策3：電話勧奨における営業力強化(内勤スタッフ確保)
- 対策4：保健師のスキルアップ(支部保健師研修、スキルアップ勉強会、委託機関の保健指導担当者を含めた合同セミナー開催等)



26年度以降の主な取り組み(案)

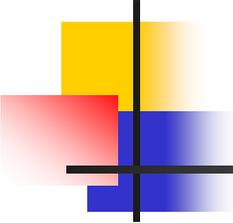
- 群馬支部健康づくり推進事業5ヶ年計画
- 事業目標
 - 1: 群馬支部の医療費を全国平均より3%低く抑える
 - 2: 血圧リスクは、全国平均の40%を目指す
 - 3: 加入者の運動習慣を改善する
 - (1) 特定保健指導対象者のうち、定期的に運動する人の割合を増やす
 - (2) 加入者の歩行時間または歩数を増やす



テーマ(案)

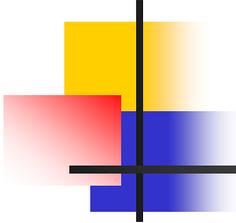
生き生き元気プロジェクト!

～ 協会けんぽはあなたとともに歩みます～



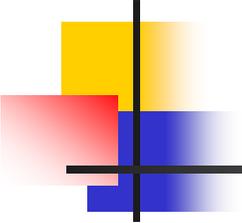
《26年度健康づくり推進事業(案)》

- 健康づくりセミナーの開催(外部講師による講義)
- 健康保険委員合同研修において健康づくり推進事業の説明及び健康測定実施
- イベントを利用した健康づくり推進
 - ・県民マラソン出展しての血管年齢測定実施と健康相談
 - ・その他イベント出展
- 事業評価のための調査(歩数調査を含む)



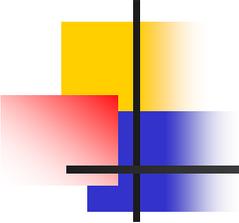
《27年度健康づくり推進事業(案)》

- イベントを利用した健康づくり推進継続
- 健診機関及び保健指導委託機関との合同セミナー開催
- 職場の健康づくりセミナー準備(スキルアップ勉強会)運動・食事・喫煙・飲酒・休養の5つのテーマ別の健康セミナーをパッケージ化
- 学校教育への展開、学校保健との連携
- 事業評価のための調査継続



《28年度健康づくり推進事業(案)》

- イベントを利用した健康づくり推進継続
- 健診機関及び保健指導委託機関との合同セミナー開催継続
- 職場の健康づくりセミナー開始
- 事業評価のための調査継続



《29年度健康づくり推進事業(案)》

- イベントを利用した健康づくり推進継続
- 健診機関及び保健指導委託機関との合同セミナー開催継続
- 職場の健康づくりセミナー継続
- 事業評価
 - 1: 事業内容評価
 - 2: 事業目標評価
- 次期に向けて推進計画立案